

特大荷物置場の設置と 事前予約制の導入に反対する！

東海労関西地本は9月9日に「申」第9号「新幹線車内への特大荷物置場の設置と事前予約制の導入」に関する申し入れを行った。

新幹線車内業務の見直しにより現在、車掌長・列車長・車掌・専任社員への負担が増加している中、今回の会社の発表は現場で働く乗務員には寝耳の水であり、これ以上の乗務員やJRCP社員への労働強化は、乗客と乗務員の生命を守るには、安全上重大な問題である。

今回の施策導入に関し、労働組合への事前説明もなくプレス発表することは労働組合の軽視の姿勢であり到底看過出来ない。

10月25日の業務委員会での会社の説明は、新幹線の特大荷物の持ち込みは1車両2・3個と言っているがひかり号では海外のお客様が多く2・3個ではないもっと多くの特大荷物が持ち込まれてる。特大荷物の管理に於いてもお客様ご自身に管理して頂くとやっているが、後部座席妻側スペースの取り扱いで、お客様同士のトラブルになった場合は乗務員が別の場所を指定するなどの対応を行うなど乗務員やJRCP社員への労働強化でしかない。

東海労は乗務員の労働強化になる特大荷物置場の設置と事前予約制の導入に反対する！！

**東海労は乗務員の労働強化になる
特大荷物置場の設置と事前予約制の
導入に反対する！！**